



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 里見 多一
 (氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,904	△4.2	2,253	△23.6	2,692	△16.8	1,358	△16.5
23年3月期第1四半期	18,698	27.3	2,949	684.5	3,236	381.1	1,625	506.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,300百万円 (48.6%) 23年3月期第1四半期 1,547百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	21.92	—
23年3月期第1四半期	26.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	125,185	82,796	55.6	1,123.94
23年3月期	124,925	81,303	54.8	1,104.39

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 69,651百万円 23年3月期 68,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	△7.0	4,500	△23.2	5,200	△19.6	2,600	△25.6	41.96
通期	80,000	△0.6	10,300	△16.4	11,700	△14.3	6,000	△19.5	96.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	66,302,262 株	23年3月期	66,302,262 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	4,331,787 株	23年3月期	4,337,197 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	61,965,098 株	23年3月期1Q	61,975,210 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) その他の注記事項	10
4. 補足情報	11
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	11
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)の経済環境は、中国、インドなど新興国の経済は依然高い水準を維持しておりますが、個人消費の伸び悩みなどから欧米経済は本格的な回復には至っておりません。一方、東日本大震災の影響を強く受けた国内経済は、企業の生産活動が著しく停滞するとともに、消費マインドの低下から消費全般が低迷し、震災前と比べ景気は大きく悪化いたしました。

金属表面改質の事業環境につきましても、当社グループの主要な取引先であります自動車業界では、部品調達や電力需給の問題などから震災後は減産を余儀なくされるとともに、鉄鋼業界も低調に推移いたしました。また、顧客の海外展開が強化されていることから、当社グループの経営資源も海外に向かい、その舵取りは困難さを増しております。さらには原材料価格が上昇し採算性の維持に苦慮するなど、当第1四半期累計期間は大変厳しい状況で推移いたしました。

このような厳しい経営環境において当社グループでは、競争力のある新技術の創出とその市場展開を強化するとともに、あらゆるコストの削減に努めてまいりました。また、東日本大震災の津波被害を受けて休業しておりました当社の仙台工場は、多くの方々のご協力を仰ぎながら復旧の準備を進めておりましたが、この度品質確保の目処がたったことから平成23年7月より事業を再開いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の連結業績は次のようになりました。

【連結決算の概況】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第1四半期累計期間 (平成24年3月期)	17,904	2,253	2,692	1,358
前第1四半期累計期間 (平成23年3月期)	18,698	2,949	3,236	1,625
増減金額	793	695	544	267
増減率	4.2%	23.6%	16.8%	16.5%

売上高は17,904百万円と前年同四半期に比べ793百万円(4.2%)の減収となりました。回復基調にありました金属表面改質事業ですが、震災の影響は国内のみならずアジア各地にも及び、その需要は減少いたしました。しかしながら、サプライチェーンの復旧に伴い自動車生産が持ち直してまいりました結果、当第1四半期累計期間の後半には、当社グループの売上高も徐々に持ち直してまいりました。

営業利益は2,253百万円と前年同四半期に比べ695百万円(23.6%)の減益となりました。販売費及び一般管理費は4,642百万円と前年同四半期に比べ0.5%の増加に留まりましたが、主要な事業であります薬品事業並びに加工事業の減収により減益幅は比較的大きくなりました。

営業外の損益では、持分法による投資利益の増加や、為替差損益が前第1四半期累計期間の損失から利益に転じたことなどにより、営業外の収支は前年同四半期と比べ151百万円改善し438百万円の収入となり、経常利益は2,692百万円と前年同四半期に比べ544百万円(16.8%)の減益となりました。

特別損益では、当第1四半期累計期間における大きな損失計上はありません。また、少数株主利益が主に国内連結子会社の業績低迷に伴い前年同四半期に比べ88百万円減少いたしました。この結果、四半期純利益は1,358百万円と前年同四半期に比べ267百万円(16.5%)の減益となりました。

【投資情報】

(単位:百万円)

	当第1四半期累計期間	前第1四半期累計期間
減価償却費(有形)	798	818
設備投資額	1,129	508
研究開発費	545	510
有利子負債	6,658	8,497

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

事業の種類	外部顧客に対する売上高				セグメント利益			
	当第1四 半期累計	前第1四 半期累計	増減額	増減率	当第1四 半期累計	前第1四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	8,491	9,169	677	7.4%	2,041	2,481	439	17.7%
装置事業	1,855	1,501	353	23.6%	62	145	83	57.2%
加工事業	7,076	7,547	471	6.2%	1,288	1,646	357	21.7%
その他	481	480	1	0.3%	14	55	40	73.4%
調整額(消去)	-	-	-	-	1,028	1,087	58	-
連結	17,904	18,698	793	4.2%	2,253	2,949	695	23.6%

薬品事業

外部顧客に対する売上高は 8,491 百万円と前年同四半期に比べ 677 百万円 (7.4%) の減収となり、営業利益は 2,041 百万円と 439 百万円 (17.7%) の減益となりました。当事業部門は、耐食性、耐磨耗性、潤滑性などの機能性向上を目的に、金属などの表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。当第1四半期累計期間では、海外の薬品事業は増収で推移いたしましたが、震災により国内需要が減少するとともに、全般的な原材料の高騰により収益率が低下し、厳しい状況で推移いたしました。

装置事業

外部顧客に対する売上高は 1,855 百万円と前年同四半期に比べ 353 百万円 (23.6%) の増収となり、営業損失は 62 百万円と 83 百万円 (57.2%) 赤字幅が圧縮いたしました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しておりますが、インドネシア等の海外で売上高が若干増加したことから増収増益となりましたが、自動車メーカーの国内設備投資は依然低調に推移しており、厳しい状況が続いております。

加工事業

外部顧客に対する売上高は 7,076 百万円と前年同四半期に比べ 471 百万円 (6.2%) の減収となり、営業利益は 1,288 百万円と 357 百万円 (21.7%) の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しておりますが、薬品事業と同様に海外における加工事業は増収増益で推移いたしましたが、主要な受託加工品が自動車部品であることから、国内自動車生産の減少の影響が大きく、厳しい状況で推移いたしました。

その他

外部顧客に対する売上高は 481 百万円と前年同四半期に比べ 1 百万円 (0.3%) の増収となり、営業利益は 14 百万円と 40 百万円 (73.4%) の減益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを営んでおります。当第1四半期累計期間では、物流品の減少により運送事業の採算性が悪化したことなどにより減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ 259 百万円増加し 125,185 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では現金及び預金が 2,378 百万円、受取手形及び売掛金が 422 百万円それぞれ減少した一方で、未成工事支出金などたな卸資産が 1,921 百万円増加いたしました。固定資産では海外の生産設備等の増強により建設仮勘定が 517 百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し 1,233 百万円減少し 42,389 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では未払法人税が 1,859 百万円、賞与引当金が 1,246 百万円それぞれ減少した一方で、前受金などで流動負債のその他が 1,937 百万円増加いたしました。

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末と比較し 1,493 百万円増加し 82,796 百万円となりました。主な増加といたしましては、利益剰余金が 751 百万円、その他の包括利益累計額が 465 百万円、少数株主持分が 275 百万円それぞれ増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 55.6%と前連結会計年度末から 0.8%増加するとともに、一株当たり純資産は 1,123 円 94 銭と 19 円 55 銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

今後につきましては、国内経済は回復の兆しも見せ始めておりますが、福島原子力発電所の事故対応の長期化や電力不足により、企業の生産活動は制約されており、一足飛びに本格的な回復には至らないと考えられます。また、新興国のインフレ懸念、ユーロ圏の財政問題、米国の債務問題など、景気の回復基調を一気に覆してしまう懸念材料が顕在化しつつあります。さらには、資源の獲得競争などにより原材料価格の高騰が進んでおり、先行きの業績を見通すのは大変困難な状況となっております。

このような厳しい経済環境において当社グループでは、原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めるとともに、拡大する海外市場での事業展開を強化するため、海外での設備投資を積極的に進め、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、当第1四半期累計期間の業績は計画の範囲内で推移しているとの判断から変更はありません。

平成 24 年 3 月期連結業績の見通し (平成 23 年 5 月 13 日公表)

	金額	前期比	増減率
売上高	80,000 百万円	483 百万円	0.6%
営業利益	10,300 百万円	2,027 百万円	16.4%
経常利益	11,700 百万円	1,949 百万円	14.3%
当期純利益	6,000 百万円	1,454 百万円	19.5%

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。]

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1) 税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,683	23,304
受取手形及び売掛金	25,035	24,612
商品及び製品	1,687	1,811
仕掛品	1,715	3,141
原材料及び貯蔵品	3,323	3,696
その他	4,253	4,630
貸倒引当金	108	104
流動資産合計	61,590	61,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,904	11,913
土地	14,545	14,571
その他(純額)	8,854	9,367
有形固定資産合計	35,304	35,851
無形固定資産		
	1,866	1,833
投資その他の資産		
投資有価証券	18,231	18,387
その他	8,112	8,201
貸倒引当金	180	180
投資その他の資産合計	26,164	26,408
固定資産合計	63,335	64,093
資産合計	124,925	125,185
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,992	12,367
短期借入金	3,268	3,084
1年内返済予定の長期借入金	556	509
未払法人税等	2,981	1,122
賞与引当金	2,316	1,070
その他	7,706	9,498
流動負債合計	28,821	27,652
固定負債		
長期借入金	3,138	3,023
退職給付引当金	9,538	9,578
その他	2,124	2,134
固定負債合計	14,800	14,736
負債合計	43,622	42,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	65,508	66,259
自己株式	3,619	3,618
株主資本合計	70,362	71,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,163	2,187
繰延ヘッジ損益	50	51
為替換算調整勘定	4,041	3,599
その他の包括利益累計額合計	1,929	1,463
少数株主持分	12,869	13,145
純資産合計	81,303	82,796
負債純資産合計	124,925	125,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	18,698	17,904
売上原価	11,129	11,008
売上総利益	7,568	6,896
販売費及び一般管理費	4,619	4,642
営業利益	2,949	2,253
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	124	142
受取賃貸料	84	77
為替差益	-	28
持分法による投資利益	163	216
その他	81	59
営業外収益合計	466	541
営業外費用		
支払利息	40	24
為替差損	11	-
デリバティブ評価損	70	0
その他	58	78
営業外費用合計	179	103
経常利益	3,236	2,692
特別利益		
固定資産売却益	2	4
その他	1	3
特別利益合計	3	8
特別損失		
固定資産除却損	2	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22	-
その他	0	0
特別損失合計	24	4
税金等調整前四半期純利益	3,215	2,696
法人税等	1,179	1,015
少数株主損益調整前四半期純利益	2,036	1,680
少数株主利益	410	322
四半期純利益	1,625	1,358

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,036	1,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	913	24
繰延ヘッジ損益	27	1
為替換算調整勘定	407	473
持分法適用会社に対する持分相当額	44	121
その他の包括利益合計	488	619
四半期包括利益	1,547	2,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	980	1,823
少数株主に係る四半期包括利益	566	476

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	9,169	1,501	7,547	18,218	480	18,698	-	18,698
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	315	16	7	339	364	703	703	-
計	9,484	1,518	7,554	18,557	844	19,401	703	18,698
セグメント利益又は 損失()	2,481	145	1,646	3,981	55	4,036	1,087	2,949

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 1,087百万円には、セグメント間取引消去 17百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 1,069百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	8,491	1,855	7,076	17,422	481	17,904	-	17,904
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	377	14	12	405	309	714	714	-
計	8,869	1,869	7,088	17,828	791	18,619	714	17,904
セグメント利益又は 損失()	2,041	62	1,288	3,267	14	3,282	1,028	2,253

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失()の調整額 1,028百万円には、セグメント間取引消去82百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 1,111百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
当第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成24年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月	通算 23年4月～24年3月
売上高	17,904				17,904
売上総利益	6,896				6,896
営業利益	2,253				2,253
経常利益	2,692				2,692
税金等調整前当期純利益	2,696				2,696
当期純利益	1,358				1,358
総資産	125,185				—
純資産	82,796				—

平成23年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月	通算 22年4月～23年3月
売上高	18,698	20,004	20,850	20,930	80,483
売上総利益	7,568	7,720	8,307	7,793	31,389
営業利益	2,949	2,906	3,588	2,883	12,327
経常利益	3,236	3,234	3,818	3,359	13,649
税金等調整前当期純利益	3,215	3,217	3,821	3,021	13,275
当期純利益	1,625	1,870	2,183	1,774	7,454
総資産	118,525	120,683	122,613	124,925	—
純資産	77,002	77,917	80,206	81,303	—

平成22年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 21年4月～21年6月	第2四半期 21年7月～21年9月	第3四半期 21年10月～21年12月	第4四半期 22年1月～22年3月	通算 21年4月～22年3月
売上高	14,692	17,570	17,615	19,515	69,393
売上総利益	4,618	6,257	6,893	7,371	25,141
営業利益	375	1,960	2,482	2,741	7,560
経常利益	672	2,299	2,884	3,198	9,055
税金等調整前当期純利益	642	1,771	2,866	2,934	8,215
当期純利益	268	945	1,629	1,288	4,131
総資産	111,008	112,525	115,004	119,101	—
純資産	71,566	72,884	73,729	76,133	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント	売上高				セグメント利益又は損失()				
	当第1四 半期連結 累計期間	前第1四 半期連結 累計期間	増減	増減率	当第1四 半期連結 累計期間	前第1四 半期連結 累計期間	増減	増減率	
薬品 事業	日本	6,102	6,916	814	11.8%	1,577	2,032	455	22.4%
	アジア	2,288	2,151	136	6.4%	467	446	20	4.7%
	欧米	100	101	0	0.2%	25	27	2	9.8%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	377	315	62	19.7%	27	25	2	8.4%
	計	8,869	9,484	615	6.5%	2,041	2,481	439	17.7%
装置 事業	日本	1,045	999	46	4.7%	101	158	57	36.1%
	アジア	809	501	307	61.2%	36	11	25	222.0%
	欧米	-	0	0	100.0%	-	0	0	100.0%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14	16	1	11.2%	2	1	1	71.2%
	計	1,869	1,518	351	23.2%	62	145	83	57.2%
加工 事業	日本	4,848	5,563	714	12.8%	881	1,330	448	33.7%
	アジア	1,523	1,374	149	10.9%	308	268	40	15.0%
	欧米	703	609	93	15.4%	67	21	46	216.2%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12	7	5	80.6%	30	26	4	16.9%
	計	7,088	7,554	465	6.2%	1,288	1,646	357	21.7%
報告セグメント計	17,828	18,557	729	3.9%	3,267	3,981	713	17.9%	
その 他	日本	432	461	29	6.4%	16	54	37	69.4%
	アジア	49	18	31	171.3%	2	0	2	622.3%
	欧米	-	-	-	-	-	-	-	-
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	309	364	54	15.0%	0	0	0	14.1%
	計	791	844	53	6.3%	14	55	40	73.4%
合計	18,619	19,401	782	4.0%	3,282	4,036	754	18.7%	
調整額	714	703	11	1.6%	1,028	1,087	58	5.4%	
連結損益計算書計上額	17,904	18,698	793	4.2%	2,253	2,949	695	23.6%	

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	当第1四 半期連結 累計期間	前第1四 半期連結 累計期間	増減	増減率	当第1四 半期連結 累計期間	前第1四 半期連結 累計期間	増減	増減率
日本	13,295	14,664	1,369	9.3%	2,457	3,335	877	26.3%
アジア	4,670	4,045	624	15.4%	794	697	96	13.8%
欧米	804	710	93	13.1%	93	49	43	87.9%
合計	18,770	19,421	651	3.4%	3,345	4,082	737	18.1%
調整額	865	723	142	19.6%	1,091	1,133	41	3.7%
連結損益計算書計上額	17,904	18,698	793	4.2%	2,253	2,949	695	23.6%